

新基地建設反対名護共同センターニュース

大軍拡・大增税の岸田内閣へ国民の大反撃を！



「平和、いのち、くらしを壊す戦争準備の大軍拡・第増税NO!連絡会結成」院内集会の様子。正面で挨拶する日本共産党小池晃書記局長（写真提供・全国商工新聞）

くらしを壊す大軍拡NO!連絡会を結成

中央の国民大運動実行委員会、安保破棄中央実行委員会、憲法共同センターの3団体の呼びかけで「いのち、くらし、地域をこわす大軍拡、大增税NO!連絡会」（略称・くらしを壊す大軍拡NO!連絡会）が23日、衆議院会館で結成されました。同連絡会は「暮らしをこわす戦争準備の大軍拡反対署名」運動を提起し、23年度予算案の国会審議との関係で2月9日、3月9日に全国一斉の「大宣伝行動」を大規模に取り組むことも確認しました。大軍拡、大增税路線をひた走る岸田政権へ国民的運動での大反撃の開始です。日米安保への賛否に関わらず幅広い国民が「くらしを壊す大軍拡NO!連絡会」に結集し、国民的運動を広げ、大軍拡・大增税路線に突き進む岸田内閣を包囲し、打倒へ力を合わせましょう。

**民医連の九州・沖縄協が
辺野古支援・連帯ツアー**
全日本民医連の九州・沖縄地方協議会が12日、辺野古支援・連帯ツアーでゲート前を視察（写真）。20〜30歳代中心の約20人で現場はほとんどが初体験。30代男性は「毎日、県民が座り込み、権力と対峙していることは驚きです。昨日、嘉手納基地では、米軍の戦闘機がタッチ&ゴーで爆音を繰り返していました。『沖縄はリゾートの島』というイメージしかなかったのでカルチャーショックです。岸田政権による大軍拡でアメリカと戦争する国づくりへ進んでいるので沖縄県民と連帯して平和を守りたい」と話していました。

1・28 県民総意の「建白書」から10年
国会請願署名で民意実現を求める県民集会
【オール沖縄会議からのお知らせ】見出しの件について
下記のとおり県民集会を開催し、民意実現に向けた国会請願署名への協力を呼びかけ、その後パレードを行います。
お忙しい中とは思いますが集会およびパレードに参加頂きますようお願い致します。

記

主催：辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議
日時：2023年1月28日（土）
開会 14:00〜15:00
場所：県民広場
パレード：県民広場〜牧志公園15:00〜16:00
※各団体10名程度の参加をお願いします。
※お出かけ前の体温チェックで、発熱等体調のすぐれない方は参加を控えてください。
※マスク着用にご協力をお願いします。
※新型コロナウイルスの状況により、急遽、集会中止の判断もあることをご理解ください。



蜜を避けゲートの反対側路上で工事車両の搬入に抗議する県民を見守る民医連の人々

原告適格性を認めさせることが課題 辺野古住民訴訟が学習会

辺野古・大浦湾周辺住民らが知事の辺野古設計変更申請不承認を取消した国土交通大臣の裁決の取消を求める抗告訴訟の学習会が1月13日に那覇市内で開かれ、約40人が参加しました（写真）。

川津知大弁護士が裁判の概要と経過を報告しました。住民らは、知事の埋立承認撤回を国土交通大臣が取り消した採決の取消を求める抗告訴訟も争っています。この撤回取消の抗告訴訟は、那覇地裁がいったん4名について原告適格を認めましたが、その後、裁判長が交代して全ての原告について原告適格を認めずに訴えを却下してしまった経過があります。



●設計変更申請不承認取消を求める住民の抗告訴訟、第2回口頭弁論日程
日時：1月31日（火）午後2時半〜 那覇地裁

憲法を力に大軍拡反対へ共同を！



ゲート前に1月19日、各地島ぐるみ会議から60人ほどが座り込みました。「沖縄の風」の高良鉄美参院議員が駆けつけ参加者を激励しました。（写真左手前マイクを持つ人）

憲法学者の高良氏は、岸田内閣の大軍拡・大增税の閣議決定を批判し、憲法前文には「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないよう決意」した、と書いてある。「日本と沖縄を再び戦場にさせないため平和主義や財政民主主義など憲法を力に広範な国民の共同を広げ、岸田内閣を追い詰めましょう」と訴えました。